

科目コーディネータ (科目責任者)	遠藤 龍人 教授				問合せ先	医学部教務課 大学院担当		
科目コーディネータ所属	看護学部 看護専門基礎講座				連絡先	内線5512、5511/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp		
講義場所	－							
区分等	区分	講義	回数	前期 8 回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	遠藤 龍人 教授 (看護学部 看護専門基礎講座) 岩渕 光子 教授 (看護学部 地域包括ケア講座) 佐藤 悦子 看護部長 (看護部) 工藤 賢三 薬剤部長 (薬剤部/薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野 教授)				佐々木 忠司 技師長 (中央放射線部) 千葉 拓也 技師長 (中央臨床検査部) 藤原 恵真 臨床心理士 (臨床心理室) 宇夫方 直子 副栄養士長 (栄養部)			
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	世界水準の先進医療の導入に必要な能力を涵養するために、医療者に限らず、専門職業職者に求められる研究開発能力あるいは診療技能の相互理解と、異なった専門職業職間での協調作業に係る学際的基盤知識を身につけることにより、多様化・高度化する医療に対応し実践・研究・指導ができるようになる。						1, 2, 3, 4, 5	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 各種専門職業職者に求められる資質、能力を説明できる。				1,2,3,4,5,6,7,8			
	(2) 研究開発事業あるいは先進高度化医療の実践に必要な、多職種間での協調共同行為実践に必要な基盤知識を説明できる。				1,2,3,4,5,6,7,8			
資格取得等	特になし。							
成績評価方法	受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。							
特記事項	<履修に関する情報> 各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用する。 受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合やオンデマンド形式の講義、秋入学者については、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までにWeb Classにアップロードすること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 様々な領域の専門家による講義により、多様な価値観や広い視野に立ったものの見方や考え方を学ぶ。							
教科書・参考書								

●講義日程

月日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
7月26日	1	(1) 多職種連携チーム医療総論/多職種チーム医療に必要な専門職の資質(医師) 多職種チーム医療の実践に必要な医師の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	遠藤龍人 (看護専門基礎講座)	Zoom
	2	(2) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(保健師) 多職種チーム医療の実践に必要な保健師の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	岩渕光子 (地域包括ケア講座)	Zoom
8月2日	1	(3) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(看護師) 多職種チーム医療の実践に必要な看護師の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	佐藤悦子 (看護部)	Zoom
	2	(4) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(放射線技師) 多職種チーム医療の実践に必要な放射線技師の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	佐々木忠司 (中央放射線部)	Zoom
8月23日	1	(5) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(管理栄養士) 多職種チーム医療の実践に必要な管理栄養士の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	宇夫方直子 (栄養部)	Zoom
8月配信予定		(6) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(臨床検査技師) 多職種チーム医療の実践に必要な臨床検査技師の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	千葉拓也 (中央検査部)	e-learning (動画視聴)
8月配信予定		(7) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(臨床心理士) 多職種チーム医療の実践に必要な臨床心理士の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	藤原恵真 (臨床心理室)	e-learning (動画視聴)
8月23日	2	(8) 多職種連携チーム医療に必要な専門職の資質(薬剤師) 多職種チーム医療の実践に必要な薬剤師の資質、方略を学ぶことにより、協調共同行為実践において自身に必要な基盤知識を説明できる。	工藤賢三 (薬学部臨床薬剤学分野)	Zoom